

みんなの 広報

「みんなの広報」は市民の皆さんから投稿いただいた情報を掲載しています。掲載している情報は行政情報ではありませんので、不明な点などは各問い合わせ先に連絡してください。

また、投稿は随時募集しています。
詳細は市ホームページを確認してください。

▶問い合わせ
☎秘書課 ☎0287(62)7109



7月10日(土)

大切な人を失ったあなたへ

大切な人を失った遺族が集い、気持ちを分かち合い、新たな一歩を踏み出すための会を開催します。

- ▶とき 7月10日(土)
①分かち合いの会 in 那須 午後2時～4時
②りんどう(自死遺族部会) 午後1時30分～3時30分
③カーネーションの会(流産・産後体験者部会) 午前10時～正午
- ▶ところ 那須看護専門学校(前弥六54-1)
- ▶持ち物 故人の思い出の品物や写真
- ▶会費 200円 ※申し込み不要。
- ▶問い合わせ ①分かち合いの会 in 那須③カーネーションの会(仲山) ☎080(9541)4918
②りんどう(矢野目) ☎0287(37)0800

7月31日(土)、
8月7日(土)、21日(土)

これでキミもユーチューバー！ 街を宣伝してみよう

子どもたちで力を合わせて番組を作ります。司会やゲストへのインタビューなど、緊張しないで行けるかな?!

- ▶とき/対象
①7月31日(土) 午後1時～3時30分/小学校1～3年生
②8月7日(土) 午後1時～4時/小学校4～6年生
③8月21日(土) 午後1時～4時/中学生、高校生
- ▶ところ 株式会社adtown(石林98-35)
- ▶定員 各回15人
※定員になり次第締め切り。
- ▶参加費 無料
- ▶問い合わせ shiobara viva 安在ますみ ☎080(3487)1015



申し込みはこちら▶

7月22日(祝木)、
9月11日(土)、11月14日(日)

親子でふれあいワークショップ&ドラマスクール@らくりん座

演劇を通して、親子や友達と交流体験をします。劇団員の直接指導のもと、楽しく体を動かしたり、小道具を作ったり、芝居の一節を演じてみたり…。らくりん座稽古場の裏側ものぞけるかな?!



←申し込みはこちら

- ▶とき ①7月22日(祝木) 午前9時30分～正午
②9月11日(土) 午前9時30分～午後2時30分
③11月14日(日) 午前9時30分～午後0時30分
- ▶対象 ①4歳以上の未就学児とその保護者、②小学校4年生～中学生、③小学校1年生～3年生とその保護者
- ▶ところ 日本教育演劇道場劇団らくりん座(下大貫1246)
- ▶定員 各回30人程度 ※定員になり次第締め切り。
- ▶参加費 ①大人500円、子ども200円、②子ども1,000円(弁当付き)、③大人1,000円、子ども300円
- ▶問い合わせ shiobara viva 安在ますみ ☎080(3487)1015

ミニ 自治会だより

「ミニ自治会だより」では、市内自治会やその活動を紹介しています。

▶問い合わせ ☎市民協働推進課 ☎0287(62)7151

コロナ禍で工夫しながら活動を継続 (北赤田自治会)

新型コロナウイルスにより、自治会活動は大きな影響を受けましたが、感染対策を取りながら規模を縮小して事業を行っています。

昨年の敬老会は祝賀会を中止しましたが、自治会作成のパンフレットとお祝い品を配布しました。自主防災会では、役員のみで資機材の点検、整備や消火訓練を実施しました。今年1月からは、生きがいサロンを再開して百歳体操などを行っています。

コロナ禍でも地域の団結力を維持していくため、工夫してさまざまな活動をしていきたいです。

北赤田自治会 会長 久保 誠



防災訓練でのリヤカー組み立てと搬送の様子

ちっちゃな自然

み〜つけた



バックナンバーはこちら▶

自然を愛そう那須塩原

湿原のピンク ～サワラン～



サワラン 撮影日:2018.7.1 撮影場所:沼ッ原湿原

夏になりました。今回紹介するのは、サワランです。サワランは、標高の高い湿原でよく見られるランの一種です。貴重な植物で本市のレッドデータブックでは絶滅危惧種Ⅱ類に指定されています。沼ッ原湿原では7月上旬から開花します。(今年は、桜の開花も早かったので、6月に咲き出すかもしれません。)運が良ければ、10株ほど見つかります。しかし木道に近い株には、なかなか出会えません。トキソウに形は似ていますが、花びら(萼片)の色がショッキングピンクで見間違えることはありません。花びら(萼片)の長さは2～3センチメートルで、あまり開きません。感染症に気を付けながらランを探しに歩いてみましょう。 おさむ

MADE in なすしおばらを 味わおう



～トマト編～

▶問い合わせ ☎農務畜産課 ☎0287(62)7147

“味恋とまと”というトマトを知っていますか? 「那須塩原ブランド」にも認定され、市内はもちろん、東京圏の有名百貨店やレストランなどでも取り扱われています。本市の自然の恵みを生かして作られるトマトの特徴とは…?

“味恋とまと”ってこんなトマト

桃太郎トマトをベースに改良したトマトで、パリッとしたみずみずしさと、甘さと酸味の絶妙なバランスが特徴です。「水気耕栽培」という方法で、土からではなく、那須塩原のおいしい地下水を使って栽培。さらに、太陽の恵みもおいしいトマト作りには欠かせません。本市は北関東でも日射量が多く、ゆっくりと時間をかけて甘く身の締まったトマトを作ることができます。

環境にもやさしく。一步先行くブランド野菜を

ハウスの室温は環境にやさしい「木質ペレット」で暖かさを保っています。また、包装資材をプラスチック材の袋から紙袋へ変えることを検討しています。紙袋は環境にやさしい反面、トマトが見えない状態での販売になるため、お客様との信頼関係を築くためにも、品質への責任がこれまで以上に求められてきます。



1 “味恋とまと”のパッケージ。ロゴの水色は本市の水と空をイメージしているそう



2 木質ペレット。乾燥した木材を細粉し圧縮成形した木質燃料で、環境にやさしいエネルギーとしても注目

私が作っています!

トマト農家(西三島)
高松 英樹さん(52歳)



農家の4代目として就農し、現在は“味恋とまと”のみを栽培。対面販売を重視し、市内外の直売所やスーパーなどに直接出荷を行う。

農業の魅力や、農業を始めたいと考えている人へのメッセージなど、詳細は市ホームページで紹介しています。

